

令和 7 年度  
「運営に関する計画」

大阪市立加美北小学校  
令和 7 年 4 月

**現状と課題**

- 令和 6 年度大阪市学力経年調査での学年別・教科別の正答率は、以下のとおりである。（大阪市比）

3年	国語	55(- 6)	社会	60(- 7)	算数	61(- 8)	理科	59(- 3)	
4年	国語	61(- 7)	社会	51(- 9)	算数	59(- 9)	理科	54(- 9)	
5年	国語	63(- 7)	社会	47(-13)	算数	45(-18)	理科	57(-11)	
6年	国語	64(- 2)	社会	54(- 1)	算数	58(- 7)	理科	62(- 2)	
								英語	75(- 9)
								英語	74(- 2)
- 令和 6 年度大阪市学力経年調査の学年別・教科別の正答率は、全ての学年において、大阪市平均を下回る結果であった。

国語科では、「書くこと」、「読むこと」の領域では、市平均を大きく下回る結果であった。また、算数科では、「数と計算」の領域が下回っており、基礎基本の定着にむけて取り組む必要がある。

また、国語科、算数科ともに「思考・判断・表現」の観点が市平均を大きく下回っている。学級での話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする機会を多く持つことで力を伸ばしていきたい。
- これまで自己有用感の向上をめざし、継続して取り組んでいる。「自分にはよいところがある」と答えた児童は、学校生活アンケートで R5:80%→R6:77%と減少している。今後も自己有用感の向上を図る取り組みを継続して進めていきたい。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

- 令和 7 年度の年度末の学校生活アンケートにおいて、「自分にはよいところがある」との質問に肯定的な回答をする児童の割合を 85%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 令和 4 年度～令和 7 年度の小学校学力経年調査で、「国語の勉強が好きですか」と「算数の勉強が好きですか」との質問に肯定的な回答をする児童の割合を国語は毎年 70%以上に、算数は毎年 65%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 令和 4 年度～令和 7 年度における I C T を活用した学習活動の回数を前年より増加させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 年度目標

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 令和 7 年度末の学校生活アンケートで「学校のきまりを守っている」の質問に肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上する。 (R6:87%)
- 令和 7 年度末の学校生活アンケートで「自分にはよいところがある」の質問に肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上する。 (R6:77%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 年度目標

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 35%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年以上にする。 (R6 : 58%)
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 63%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 年度目標

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。
- 年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 80%以上にする。
- 年度末の学校生活アンケートで「読書をするのが好きである」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を前年以上にする。 (R6 : 70%)

### 3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立加美北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b>	
<b>年度目標</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。</li><li>○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を85%以上にする。</li><li>○ 令和7年度末の学校生活アンケートで「学校のきまりを守っている」の質問に肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上する。 (R6:87%)</li><li>○ 令和7年度末の学校生活アンケートで「自分にはよいところがある」の質問に肯定的な回答をする児童の割合を前年度以上する。 (R6:77%)</li></ul>	

取組内容①【方向1 安全・安心な教育環境の実現】・・・横井 いじめについて考える活動を行うとともに、早期発見・解決に向けた取り組みを推進する。	
<b>指標</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 年3回、いじめアンケートを実施し、いじめの未然防止、早期発見を行う。いじめアンケートで認知した事案については、面談・指導を行い、いじめを解決していく。年間を通していじめ解決の割合を95%以上にする。また、解決した事案においても経過を観察し、3か月間同事案が起きていないかを確認していく。</li><li>・ 学期に1回、いじめに関する内容項目の道徳教材に取り組み、いじめアンケートでのいじめの有無だけでなく自分の行動を振り返られるようにしていく。</li><li>・ 年間を通して1人1台学習端末によるスクールライフノートの活用を促す。</li></ul>	

取組内容②【方向1 安全・安心な教育環境の実現】・・・藤田  
学校のきまりを守ろうとする態度を育てる。

指標

- ・ 学校生活アンケートにおいて、「ろうか、階段を歩いている。」「ろうか、階段では右側通行をしている。」の項目について、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答える児童の割合を85%以上にする。
- ・ 学期に1回「ろうか歩行週間」を設ける。
- ・ ろうか、階段の右側を歩けるような校内の環境整備を行う。

取組内容③【方向1 安全・安心な教育環境の実現】・・・川瀬  
防災・減災を意識した行動が教職員、児童ともにとれるようにする。

指標

- ・ 避難訓練を年4回（火災、風水害、不審者対応、地震・津波）行い、防災・防犯への意識を高める。地震・津波の訓練は、そうじ時間に行う。
- ・ 引き渡し訓練（6月）、不審者対応研修（警察と連携した職員研修）を行う。
- ・ 防災や減災についての年間指導計画の見直しをする。

取組内容④【方向2 豊かな心の育成】・・・杉本  
お互いの良さを認め合い、尊重し合える集団を育てる。

指標

- ・ 友だちのよいところを見つけ、伝え合う活動を工夫していく。
- ・ 学期や行事ごとに自分のよいところをふり返り、自己有用感の定着を図る。また、学校便りの「いいところを見つけ」を広めるなど、家庭でもよいところを認めてもらえるように働きかける。
- ・ いいところを見つけ週間を設定し、友だちのいいところを昼休みに放送で紹介する。
- ・ 「自分にはよいところがあると思う」との問い合わせに肯定的に回答する児童の割合を学校生活アンケートで80%をめざす。

## 大阪市立加美北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p><b>年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を35%以上にする。</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年以上にする。（R6：58%）</li> <li>○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を63%以上にする。</li> </ul>	

取組内容①【方向4 誰一人取り残さない学力の向上】・・・今村 基礎学力の徹底した定着を図る。	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加美北漢字検定を行う。</li> <li>・ 学校生活アンケートで、「ショートラーニングで自分の目標に向かって取り組むことができている」という項目において、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</li> </ul>	

取組内容②【方向4 誰一人取り残さない学力の向上】・・・和田 ペアやグループなどの学習形態を工夫して、話し合い活動を進められる場を設定する。	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校生活アンケートにおいて「ペアやグループ活動で自分の意見を伝えることができている」の項目において、肯定的な意見を80%以上にする。</li> <li>・ ペアやグループ学習についての方法を共有し、実践を行いやすくする。</li> </ul>	

取組内容③【方向4 誰一人取り残さない学力の向上】・・・榎本  
低学年からの英語教育に取り組むとともに、英語に親しむ環境を充実していく。

指標

- 英語担当とC-NETが低学年の朝の英語タイム時に、英語活動を定期的に行いう計画し、実施する。
- 教室、校内の廊下や階段などに英語に関する掲示物をシリーズごとに貼るなどの工夫をして、子どもたちが読み方を確かめたり、発音したりする機会を増やす。
- 英語が楽しめるようなプリントを作成し、自学用などで活用する。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を58%以上にする。

取組内容④【方向5 健やかな体の育成】・・・神前  
体育科や休み時間を通して、運動の日常化を図り、児童の体力向上を目指す。

指標

- 学校生活アンケートで「運動をすることが好きである」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 縄跳び習慣や駆け足週間のほかに、おにごっこ週間のように外に出て遊ぶ取り組みを行う。

取組内容⑤【方向5 健やかな体の育成】・・・田中  
「食」への関心を高め、望ましい食事をしようとする意識をもち、実践する力を身につけさせる。

指標

- 「もりもり食べよう週間」を年5回実施することにより、残食率5%以下を維持する。
- 学校生活アンケートで「給食を残さず食べている」と回答する児童の割合90%以上を維持する。

学期に1回程度「食育の日：19日」に、給食時間などをを利用して食育指導を行う。（予定 6/19 9/19 1/19）\*パワポなどの視聴覚教材を使用

取組内容⑥【方向5 健やかな体の育成】・・・出野  
自分の健康について関心をもち、よりよい健康生活をおくろうとする児童を育てる。

指標

- 学校生活アンケートで「石けんでていねいに手洗いをしている」と回答する児童の割合90%以上を維持する。
- 1年生～3年生の児童に、発育測定後に正しい手洗いの仕方について保健指導をする。
- 学校生活アンケートで「よい姿勢を心がけている」と回答する児童の割合を75%以上にする。
- 月曜の朝会時に、30秒間「姿勢タイム」を作り、正しい姿勢を意識できるような時間を作る。

(様式2)

大阪市立加美北小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p><b>年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。</li> <li>○ 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。</li> <li>○ 年度末の学校生活アンケートで「読書をするのが好きである」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を前年以上にする。(R6: 70%)</li> </ul>	

<p>取組内容①【方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】・・・森村</p> <p>授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の半数を超えるようにする。</p> <p>教員のICT機器活用能力を高める。</p>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席児童の80%以上が心の天気を入力する。</li> <li>・ 各学年の児童がICT活用能力到達表に到達できるよう指導する。</li> </ul>	

<p>取組内容②【方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】・・・井上</p> <p>全教員が授業力の向上(主体的な学び・対話的な学び・深い学びを実現する授業づくり)をめざし、校内研究に取り組む。</p>	
<p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年1回、研究授業・討議会を行い、そのうち3本は外部講師に指導講評を要請する。</li> <li>・ 教科主任等による若手研修会での伝達講習を年に1回以上行う。</li> </ul>	